

東アジア 地方政府 会合 パネル展



このパネル展では、
東アジア地方政府会合を始めた経緯や
これまでの歩みについてご紹介します。

担当課：奈良県知事公室国際課

東アジア地方政府会合とは

平成22年（2010年）、平城遷都1300年を記念して、「東アジア地方政府会合」を設立しました。

この会合は、地方政府が共有する行政課題について、それぞれの政策を報告し合い、相互理解を深めるとともに、真摯な議論を通して課題解決の道筋を見出そうとするものです。

本会合の継続的な開催により、我々地方政府の行政能力を高めるとともに、相互の友好交流を深めることにより、国家間の外交を補完し、平和で安定した東アジアの発展に貢献できると考えています。



【会員地方政府】7カ国75地方政府

◇中国(18)	江蘇省、安徽省、山東省、河南省、貴州省、陝西省、甘肅省、成都市、西安市、洛陽市、揚州市、黃山市、宿州市、潍坊市、臨沂市、東營市、都江堰市、敦煌市
◇インドネシア(2)	西ジャワ州、ジョグジャカルタ特別州
◇マレーシア(1)	マラッカ州
◇フィリピン(3)	オーロラ州、ディナランガン町、バレル市
◇韓国(8)	京畿道、忠清南道、公州市、瑞山市、扶余郡、全羅南道、慶尚北道、慶州市
◇ベトナム(5)	フートー省、トゥアティエン・フエ省、クアンナム省、ベッチ市、フエ市
◇日本(38)	青森県、山形県、福島県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県、京都府、和歌山県、鳥取県、島根県、徳島県、香川県、高知県、熊本県、奈良県、多賀城市、荒川区、新潟市、甲府市、高山市、太宰府市、奈良市、天理市、橿原市、御所市、葛城市、斑鳩町、三宅町、田原本町、明日香村、広陵町、下市町

【特別会員】

- ◇関係省庁・駐日公館(8)
 - 日本国総務省
 - 日本国外務省
 - 駐日マレーシア大使館
 - 在大阪中華人民共和国総領事館
 - 在大阪インドネシア共和国総領事館
 - 在大阪フィリピン共和国総領事館
 - 在大阪大韓民国総領事館
 - 在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館

- ◇国際関係機関(5)
 - 一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR)
 - 東アジア・アセアン経済研究センター (ERIA)
 - 独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO)
 - 独立行政法人国際協力機構 (JICA)
 - 国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

(※国際関係機関名はアルファベット順)



奈良県はどうして 東アジア地方政府会合の開催を始めたのか①

7世紀～9世紀の東アジアでは、
中国の隋・唐の影響力が強く、国際性が豊かであったため、
交易の盛んなグローバルな社会が形成されていました。



この時代は、隋・唐がグローバルセンターとなり、
周辺地域と交流していました。

当時の日本の首都は奈良にあり(天皇が奈良に在住)、
隋・唐、韓半島を通じて、ユーラシア各地の様々な文化・
文明を受け入れることができました。

奈良県はどうして 東アジア地方政府会合の開催を始めたのか②

当時からおよそ1300年経った現在、東アジアは新たなグローバル社会を迎えています。

東アジアが平和で繁栄する地域となるためには、国家間の外交関係に頼るだけでなく、地方政府間の交流により、相互理解と信頼構築を図り、各国の人々の交流・活動を、円滑で安定したものとする必要があります。

奈良県は、1300年前の東アジアのグローバル社会から、高度な文明をいただき、多大な恩恵を受けたことに深く感謝し、現在の東アジアグローバル社会を平和で繁栄できるものとするため、少しでも貢献できるようにと、東アジア地方政府会合の設立を発案しました。

東アジア地方政府会合



深まる交流



交流のプラットフォーム

これまでどのような議論をしてきたのか① ～討議テーマと参加者のコメントから～

提唱者 会合	2009年10月25日(日)～28日(水)	3か国 19地方政府	日本国奈良県
	「これからの日本・中国・韓国の交流促進に向けて ～東アジアの安定と発展の土台を築く～」		

「今後の東アジアの発展の土台を築き、
その道筋を確立する契機となると
確信している」

〔地方自治研究機構 会長
石原 信雄 氏〕



第1回	2010年10月6日(水)～8日(金)	6か国 34地方政府	日本国奈良県
	「文化遺産の保存、観光振興」、「次世代交流」		



「地方政府が一堂に集い、
それぞれの地域の多様性を尊重しながら、
相互理解を深めるこの取り組みは、
とても意義深いものと考えている」

〔韓国初代文化部長官
李 御寧 氏〕

第2回	2011年10月18日(火)～26日(水)	6か国 45地方政府	日本国奈良県
	「危機管理」、「地域振興」		

「東アジアの地方政府が相互の信頼の上に
緊密なネットワークを形成することにより
『新しい力、力強い東アジア』をつくることが
できるだろう」

〔奈良県 知事
荒井 正吾〕



これまでどのような議論をしてきたのか②

～討議テーマと参加者のコメントから～

第3回	【上級実務者】 第1回テーマ別会合：2012年8月28日(火)～29日(水) 第2回テーマ別会合：2012年9月10日(月)～11日(火) 【首長級】全体会合：2012年11月5日(月)～6日(火)	延べ 6か国 47地方政府
		日本国奈良県
	「少子高齢化時代の社会保障」、「税収確保に向けた取り組み」、 「地域振興」、「人材育成」	

「このような意見交換を、東アジアの国々の交流につなげ、さらに定着させていくことが望まれる。
(中略)各国の経験交流が進むことで、
東アジア全体が元気になっていく
ことだろう」

北海道大学大学院法学研究科教授
宮本 太郎 氏（講師）

第4回	2014年1月20日(月)～22日(水)	6か国 41地方政府	日本国奈良県
	「少子高齢化時代の社会保障」、「地域経済の振興と雇用」		

「地方政府は決して小さな存在ではない。
社会保障、インフラ整備、学校建設といった
具体的で実質的な活動を草の根レベルで行って
いくことでしか、大きなビジョンは実現できないのだ」

元ASEAN事務総長
スリン・ピッスワン 氏



東アジア地方政府会合

The East Asia Local and Regional Government Congress



これまでどのような議論をしてきたのか③ ～討議テーマと参加者のコメントから～

第5回	2014年10月27日(月)～29日(水)	7か国 41地方政府	日本国奈良県
	「地域経済の振興」、「まちづくり」、「観光振興」		

「本テーマに参加したメンバーが、地域の生活の質をあげ、豊かにすることこそが最大の観光振興であり、地域全体の振興やまちづくりにつながると認識し共に目指すという意思を表明したことで、
同一の成果や結果をにらんだ一つのチームとなったと感じた」

（JTIC.SWISS代表
山田 桂一郎 氏（講師））



第6回	2015年10月25日(日)～27日(火)	7か国 43地方政府	日本国奈良県
	「観光による地域経済の振興」、「まちづくり、地域づくり」、「農業・農村振興」		



「（人口や面積、歴史、文化等が）違うからこそ、その共通する部分をうまくつなげて、**東アジアの中で連携を強化し、学び合うことが大切だと**感じた」

（（株）プロットアジアアンドパシフィック
代表取締役会長 後藤 健市 氏（講師））

第7回	2016年11月6日(日)～8日(火)	6か国 41地方政府	日本国奈良県
	「まちづくり、地域づくり」、「農業と地域経済の発展」、「少子化対策の推進」		

「この粘り強い取り組みを奈良県が行ったということ、日本人は認識し誇りに思ってもよいのではないか」

（（株）日本総合研究所
主席研究員 藻谷 浩介 氏（講師））



これまでどのような議論をしてきたのか④ ～討議テーマと参加者のコメントから～

第8回	2017年5月10日(水)～11日(木)	6か国 31地方政府	中国四川省 成都市
	「観光政策における創造と革新」、 「産業・雇用政策における創造と革新」、 「まちづくり政策における創造と革新」		



「東アジア地方政府会合は、2010年の設立以来、
今や、会員地方政府間における**交流と協力のための
重要なプラットフォーム**になっている」

中国四川省成都市 市長
羅 強 氏

第9回	2018年11月1日(木)～3日(土)	6か国 39地方政府	日本国奈良県
	「農林漁業の振興」、「グローバル化社会における人材育成」		

「各地方政府が創意工夫を凝らした取り組みを
共有し、**共通課題や施策への認識を深める**
ことができ、**非常に有意義な会合**だった」

財務総合政策研究所 中国研究交流顧問
田中 修 氏（講師）



**the East Asia Local and
Regional Government Congress**

※参加者のコメントは、各回の報告書より
(役職は当時)

第10回東アジア地方政府会合

- ・ 日程：2019年11月6日(水)～8日(金)
- ・ 開催地：日本国奈良県
- ・ 討議テーマ
 - 〔テーマ1〕 観光振興
 - 〔テーマ2〕 地域で支える福祉医療の充実
- ・ 参加：5カ国40地方政府



第10回の節目を迎えたことを記念して、 「特別講演」・「メモリアル上映」・「ゲストスピーチ」などを実施

10周年記念「特別講演」



- ・ 演題：
日本と東アジア
ー 共鳴・共創・共栄の世界を目指してー
- ・ 講演者：
谷野 作太郎 氏
〔（公財）日中友好会館顧問、
元駐中国日本国特命全権大使〕

10周年記念「メモリアル上映」



石原 信雄氏
Ishihara Nobuo
一般財団法人
地方自治研究機構 会長
President, Research Institute
for Local Government

東アジア地方政府会合の第10回までの歩みを振り返るメモリアル映像を上映しました。

東アジア地方政府会合実行委員会委員長を務められるなど、本会合の設立と発展に多大なご貢献をいただいた元内閣官房副長官の石原 信雄氏からメッセージVTRを頂戴しました。

10周年記念「ゲストスピーチ」



- ・ 演題：
アジアの世紀
ー グローバリゼーションの次の段階ー
- ・ 講演者：
エイドリアン S. クリスタバル Jr. 氏
〔東アジア・アセアン経済研究センター
(ERIA) 理事会議長〕

第11回東アジア地方政府会合は、 インドネシア・西ジャワ州が主催することを発表

奈良県と西ジャワ州の両知事の間で、第11回東アジア地方政府会合の開催に向けて連携・協力して取り組むことに合意する覚書を締結しました



東アジア地方政府会合

The East Asia Local and Regional Government Congress



さらに広がる議論の場

○「第8回東アジア地方政府会合」

初めて奈良県以外の地、中国・四川省成都市で開催

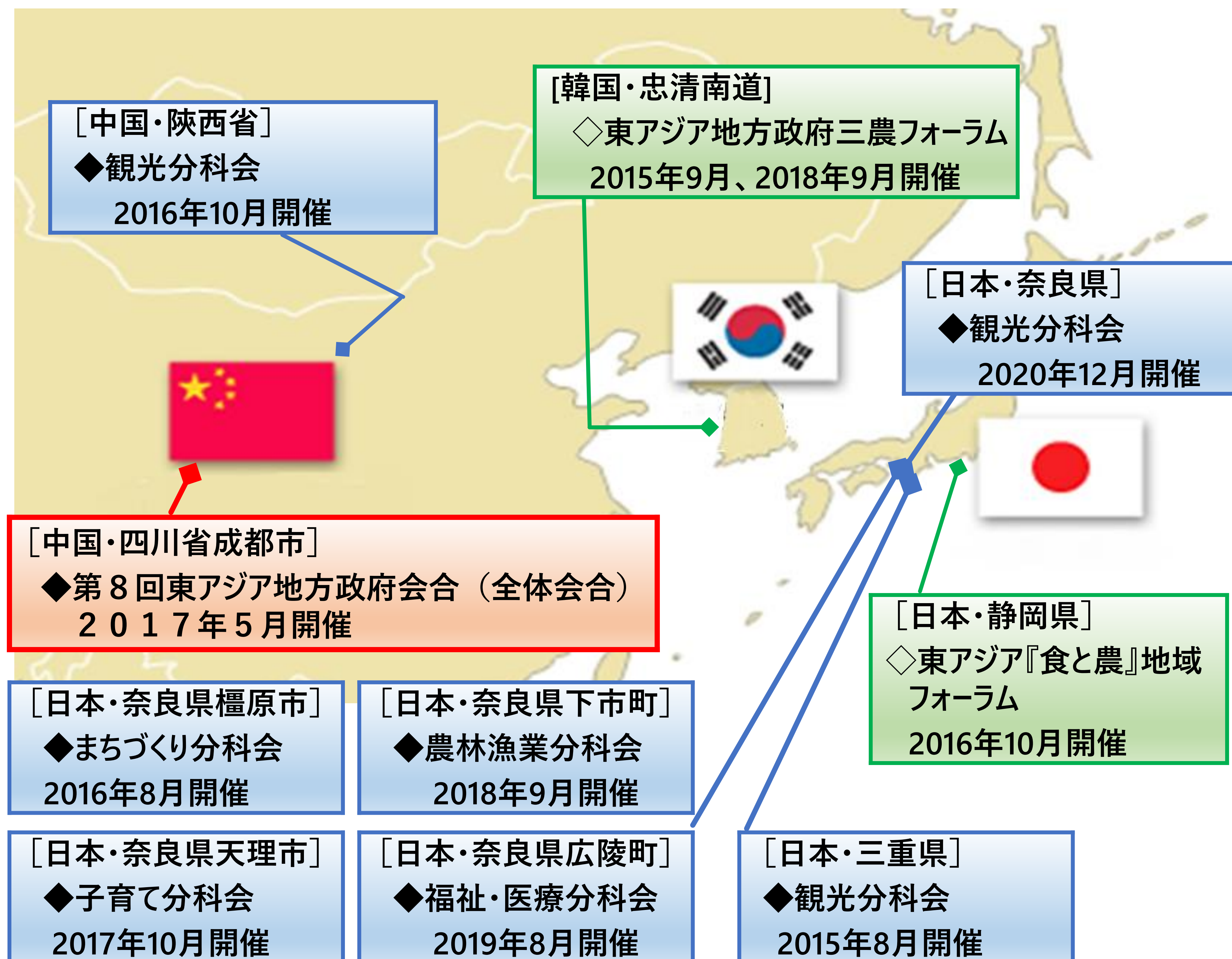
○各会員地方政府による取組み

・「分科会」

会員地方政府が主催し、会員地方政府を参加対象として開催する実務者レベルの勉強会

・「関連フォーラム」

原則会員地方政府が主催し、会員地方政府以外も参加対象に含まれるフォーラム等



東アジア地方政府会合のこれから ～相互理解、信頼構築、行政能力向上のプラットフォームとして～

東アジアとの継続的交流のため、
東アジア地方政府会合の充実発展に努めます。

- ①奈良県での開催だけではなく、**海外での開催**を目指します。
- ②今後も、東アジアの今日的共通テーマを取り上げ、
議論や情報交換を行い、**地方政府の行政能力向上と、
平和で安定した東アジアの発展に貢献**します。

観光分科会
(2015年 日本・三重県)



観光分科会
(2016年 中国・陝西省)



第8回東アジア地方政府会合
(2017年 中国・四川省成都市)



東アジア地方政府三農フォーラム
(2018年 韓国・忠清南道)



福祉・医療分科会
(2019年 日本・奈良県広陵町)

2020年 観光分科会

- ・ 日 程：2020年12月2日(水)
- ・ 開催地：日本国奈良県
- ・ 参 加：現地・オンライン計35機関
- ・ 会 場：平城宮跡歴史公園

初の試みとして、
現地参加・オンライン参加の併用で開催



「新型コロナウイルスと共存する時代の観光振興」をテーマに
日本国内の会員の実務者を対象とした分科会を実施

講演



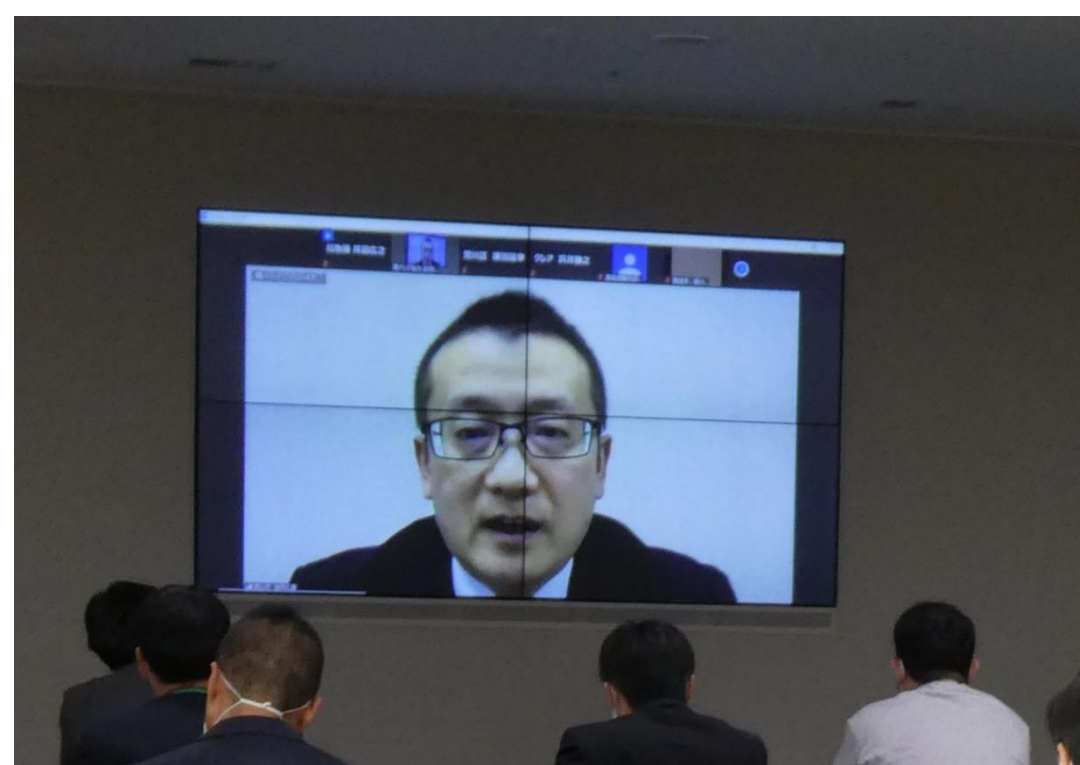
- ・ 演題：
野遊びSDGsによる地方創生 グローバル時代
における地域の価値とその活かし方
- ・ 講師：後藤 健市 氏
場所文化デザイナー・
野遊び地方創生プロデューサー
(株)スノーピーク取締役執行役員
(地方創生担当) ほか

- ・ コロナ禍の影響がある今の状況をまず受け入れて、それに対して進化系の成長をどうしたら良いのか考えることが必要。地方を「何も無い」としてネガティブに捉えず、地域ごとの異なる個性の価値をグローバルな意識で認識することが重要。
- ・ 大切なのは現場の具体的な行動。地方に元々ある豊かな自然を活かして、野遊びで場所をおしゃれに着替えさせることで魅力を磨き上げ、国内外から人がわざわざ遊びに来る場所にする。

会員地方政府による事例発表・意見交換



奈良県の観光分野における
新型コロナ対策
(奈良県)



高山市のインバウンド戦略
～新型コロナウイルス対応～
(岐阜県高山市)



意見交換の様子